

大分県立由布高等学校 (観光コース等)

～令和5年12月15日 (金) 訪問～ 【由布市】



大分県立由布高等学校は、令和4年に80周年を迎えた歴史ある学校です。平成23年には由布市内の中学校と中高連携型の中高一貫教育を開始し、その際に観光コースをはじめとするコース制(4コース)が導入されています。

学校の取組として、まず観光コースの2年生が取り組んだフィールドワークについて発表していただきました。由布市グリーンツーリズム研究会の協力のもと実施した農村民泊体験やボランティアスタッフとして参加した「由布院牛喰い絶叫大会」の様子とともに、体験により得られたものを今後の活動に活かしたいという意気込みをお聞きました。

次にデータを活用した地域活性化を題材とした地域探究活動に取り組んだ生徒から発表があり、「湯布院に長期滞在をしてもらうためには」をテーマにアンケートを実施し、メディアの活用や詳細なマップの作成が必要であるとの結論に至るまでのデータ分析の手法などについて説明いただきました。

懇談では、生徒の皆さんから、日頃から感じている疑問など様々な質問をいただくとともに、今の若い世代に求めるものについてお尋ねがありました。

若い方々と意見を交わすたびに、皆さんがしっかりとした意見を持ち、夢に向かって積極的に取り組んでいる姿に日本の将来は明るいと感じていること、今後も将来を考えて、やりたいことや可能性を追求し続けていただきたいとお伝えしました。

対 話 風 景



関連する県の施策

☆事業名:【特】地域とともに輝く高校魅力化事業

事業概要:中学生から選ばれ、地域に活力を生む学校づくりを目的とした、地域課題探究学習の実践等地域と連携した取組や、小中学校との交流推進の強化、学校紹介パンフレットや学校PR動画による高校の魅力発信の充実

予算額:3,500万円

☆事業名:【特】地域における個別最適な学び推進事業

事業概要:生徒の多様な進路選択に必要な教科探究力の向上を目的とした、大学と連携した特別講座等の実施

予算額:1億5,136万円

☆事業名:【特】大分の未来を担うビジネスリーダー養成事業

事業概要:ビジネスマナー及びインバウンドを含む地域観光に貢献できるホスピタリティの涵養を目的とした研修の実施

予算額:2億6万円

☆事業名:【特】未来を拓く先端技術活用人材育成事業

事業概要:先端技術を活用した社会課題解決学習に取り組むとともに、ドローンプログラミング教室の実施、外部人材や連携企業等と学校の教育活動との調整・支援体制の構築を目的としたコーディネーターの配置

予算額:1億1,279万円

※【特】は本県の課題を解決し、新しい大分県の創造に挑戦する「新おいた創造挑戦事業」